

やまい ひと い  
病があっても人として生きたい

せいしんびょう はんせんびょう  
—「精神病」と「ハンセン病」

かた つど いんおきなわ  
を語る集い in 沖縄—

けつぎぶん  
決議文

わがくに せかい なが あいはん  
我国では世界の流れと相反し、

せいしんしょうがいしゃ たい じんけん  
精神障害者に対して人権を

むし かくりしゅうようせいさく すす  
無視した隔離収容政策を進め、

しんたいこうそく ふく やくぶつりょうほう  
身体拘束を含む薬物療法

ちゅうしん いりょう もくにん  
中心の医療を黙認してきました。この

わたし いのち せいかつ あや こうい こくれんごうちんきんしいんかい  
ことは 私たちの命や生活を危うくする行為であり、国連拷問禁止委員会から

ぜせいかんこく う にっぽんこくけんぽう すべ こくみん じゆう びょうどう  
も是正勧告を受けています。日本国憲法では全ての国民が自由と平等の

きほんてきじんけん も にっぽん ひじゅん こくれんしょうがいしゃけんりじょうやく  
基本的人権を持っており、日本が批准した国連障害者権利条約では

しょうがいしゃ とくてい せいかつしせつ せいかつ ぎむ お うた せいふ  
障害者が特定の生活施設で生活する義務を負わないことを謳っています。政府



りねん じゅんしゅ いま せいしんほけんふくしほうなら いりょうほう なか せいしん  
はこの理念を遵守し、今すぐ精神保健福祉法並びに医療法の中の精神

かどくれいとう はいし せいしんかいりょう いっぱんいりょう わくぐ なか おこな かくり  
科特例等を廃止し、精神科医療を一般医療の枠組みの中で行い、隔離

しゅうよう くすりづ ちりょう あらた  
収容、薬漬けの治療を改めるべきです。

かんじゃ びょういんない ちようきかんと こ びょうじょう いっそうあつか  
患者を病院内に長期間閉じ込めることは、病状を一層悪化させるだけでは

にんげん そんげん うしな たが そんちよう きょうせいしゃかい  
なく人間としての尊厳を失わせます。互いに尊重しあう共生社会のコミュニ

い ひと かいふく ゆいいつ ほうほう  
ティで生きることこそが、人として回復(リハビリ)できる唯一の方法です。

こくみん しょうがいしゃ たい へんけん も せつ にんげん  
国民が障害者に対し、偏見を持ち接してきたことは、人間としてあってはならない

こと せいしんびょう いま だいしっかん だれ やまい だれ  
事です。精神病は今や5大疾患とされ、誰もがかかる病であり、誰にとっても

たじんじ  
他人事ではありません。

いま ぜんしょうがいしゃ はんせんびょうもとかんじゃ りかい しめ かんけいしゃ  
今ここに全障害者とハンセン病元患者、理解を示す関係者、そして

いっばんこくみん て て と あやま くに せいしんほけんしさく ただ たたか  
一般国民と手と手を取り、誤った国の精神保健施策を正すべく闘っていくこと

ちか けつぎ  
を誓い、つぎ決議いたします。

ねん がつ にち  
2014年11月29日

やまい ひと い せいしんびょう はんせんびょう かた つど いんおきなわ  
病があっても人として生きたい「精神病」と「ハンセン病」を語る集いin沖縄

さんかしゃいちどう  
参加者一同

けつぎじこう  
決議事項

いち おきなわけん せいしんかびょうとうてんかんがたきよじゅうけいしせつ ぜったいすす  
ー 沖縄県は精神科病棟転換型居住系施設を絶対進めるな！

いち くに せいしんかびょうとうてんかんがたきよじゅうけいしせつようにな てっかい  
ー 国は精神科病棟転換型居住系施設容認を撤回しろ！

いち くに おきなわけん ぜんせいしんしょうがいしゃ ちいき じりつせいかつ よさん  
ー 国と沖縄県は全精神障害者が地域で自立生活するための予算を

かくじゅう  
拡充しろ！

いち くに しょうがいていどぐん な せいしんしょうがいしゃ じこけていけん じゅうし  
ー 国は障害程度区分を無くし、精神障害者の自己決定権を重視した

せいど そうせつ  
制度を創設せよ！

いち い ちから ねざ すす  
ー 「生きる力」に根差したピアカウンセリングを進めよう！

いち わたし なかま ふ  
ー 私たちは仲間を増やそう！

いち くに げんせいしんほけんふくしほう はいし とうじしゃしゆたい しんぼう  
ー 国は現精神保健福祉法を廃止し、当事者主体の新法をつくれ！

いち くに せいしんかとくれい はいし  
ー 国は精神科特例を廃止しろ！

いち しょうがいしゃけつかくじょうこう  
ー 障害者欠格条項をなくせ！

いち くに おきなわけん ただ ちょうきにゆういん  
ー 国と沖縄県は直ちに長期入院をなくせ！

いち おきなわけん しゃかいじょうれい りねん まも  
ー 沖縄県はインクルーシブ社会条例の理念を守れ！

いち くに おきなわけん けんぼう こくれんしょうがいしゃけんりじょうやく りねん まも  
ー 国と沖縄県は憲法や国連障害者権利条約の理念を守れ！

いち だれ せいしんびょう ちいき い  
ー 誰もが精神病になっても地域で生きられるようにしろ！

いち はんせんびょう あやま  
ー ハンセン病の過ちをくりかえすな！

いち せいしんしょうがいしゃ じんけん まも  
— 精神障害者の人権を守れ!

いち しょうがいしゃ まえ じんげん  
— 障害者である前に人間だ!

やまい ひと い  
病があっても人として生きたい

せいしんびょう はんせんびょう かた つど いんおきなわ  
「精神病」と「ハンセン病」を語る集いin沖縄

じっこういんかいきょうどうだいひょう につたそうてつ  
実行委員会共同代表 新田宗哲

じっこういんかいきょうどうだいひょう きんじょうまさはる  
実行委員会共同代表 金城雅春

## 夕涼み会in石垣島

10月24日～26日の3日間 沖縄

けんいしがきとう じりつせいかつ  
県石垣島にある自立生活センター

みなみじゅうじせい ほうもん じりつ  
「南十字星」に訪問しました。自立

せいかつ みなみじゅうじせい しゅさい  
生活センター南十字星が主催

ゆうすず かい くに きらら  
する夕涼み会が25日にあり、希輝々

ゆうすず かい さんか いただ  
メンバーも夕涼み会に参加させて頂きました。

ゆうすず かいぜんじつ きらら じりつせいかつ  
夕涼み会前日から希輝々メンバーと自立生活センターまんだのメンバーも

みなみじゅうじせい てつだ だんせいじん かいじょうせつえい じょせいじん  
南十字星のお手伝いをすることになり、男性陣は会場設営、女性陣は



やたい はんばい や や とり した かいじょう  
屋台で販売する焼きそばや焼き鳥などの下ごしらえをすることになりました。会場

せつえい さんか だんせいじん いしがきじま じもとみん きょうりよく した やえやまとくべつ  
設営に参加した男性陣は石垣島の地元民の協力の下、八重山特別

しえんがっこう かいじょう つか もくざい しゃくよう じもとこうみんかん かいじょう  
支援学校からテントや会場で使う木材の借用、地元公民館を会場とさせ

いしがき がくせい きょうりよく え かいじょうせつえい しんこう  
ていただき、石垣の学生らの協力を得て会場設営は進行していきました。

ゆうすず かいとうじつ ごぜんちゅう ぶたい  
夕涼み会当日の午前中は舞台

せつえい さいしゅうかくにん ねんい  
設営の最終確認など念入りに

ぶたいじゅんぴ かくにんさぎょう おこな  
舞台準備・確認作業を行い、

ゆうすず かい しゅつえん  
夕涼み会に出演するバンド



ConstantGrowthの舞台リハーサルを

おこな ゆうがた ゆうすず かい む じゅんぴ ゆうすず かい じもと かた  
行い夕方夕涼み会に向けて準備をしました。夕涼み会は、地元の方がたく

あつ ほか ほんとう じりつせいかつ おうえん き  
さん集まり他にも、本島からは自立生活センターイルカのメンバーも応援に来てくれ

だいせいきょう ぶたい いろいろ  
て、大盛況でした。舞台では、ピエロがパントマイムやマジックバルーンアートで色々なモ

つくだ こども おとな たの こ ひろう  
ノを作り出し子供から大人まで楽しむことができました。また、子どもたちによるダンス披露では

ようかい かそう ひとあしはや み  
妖怪ウオッチなどのハロウィン仮装を一足早く見せてもらいました。

やたい なま や とり たもの ゆうすず かい じゅんぴ つか ふ  
屋台では、生ビールや焼き鳥などたくさんの食べ物が夕涼み会の準備の疲れを吹き

と おい  
飛ばすほど美味しいものでした。

さいご えんそう たの ゆうすず かい ぶじへいまく  
最後に ConstantGrowth による演奏で楽しい夕涼み会は無事閉幕しました。

よくじつ にち あさ ゆうすず かい  
翌日26日には朝から夕涼み会の

あとかたづ ひこうき の おく  
後片付けをし、飛行機に乗り遅れそうにな

あわ こうこう む  
って慌てて空港に向かいました。

ゆうすず かい かいさい じりつせいかつ  
夕涼み会を開催した自立生活セ

みなみじゅうせい みな  
ンター南十字星の皆さん、またその

たかんけいしゃ みなさま かげ きらら いちどうたの でき  
他関係者の皆様のお陰で希輝々スタッフ一同楽しむことができました。

じゅうじつ はく にち いしがきじま たび  
ありがとうございました。とても充実した2泊3日の石垣島の旅でした。



## 第20回ピープルファースト大会in沖縄

ねん にち にち にちかん  
2014年11月1日・2日の二日間、

しちようそんじちかいかん だい かい  
市町村自治会館で第20回ピープ

たいかい おこな  
ルファースト大会が行われました。

こんかい おきなわ ぶたい こん  
今回はここ沖縄が舞台となり、今

たいかい そうぜい めい さんが  
大会は総勢500名の参加がありまし

けん き ひと かんこく き ひと たいかい  
た。いろんな県から来てくれた人たちや、韓国から来てくれた人たちもあって、大会の



かいじょう ままんせき  
会場はあつという間に満席となりました。

“ピープルファースト”とは、1973年にアメリカのオレゴン州で、知的障がいのある当事者が

はなあ にんげん い  
話し合い、「わたしたちは『しょうがいしゃ』であるまえに人間だ！」と言ったのがきっかけです。

じぶん き じこけてい はじ どうじやうんどう  
「自分たちのことは、自分たちで決める」という、『自己決定』から始まった当事者運動です。

たいかい にちめ しょうがいしゃけんり  
大会1日目は、障害者権利

じょうやく はなし ちばけん  
条約のお話です。千葉県では

ぎゃくたいしぼうじけん お にゅうしょ  
虐待死亡事件が起きたこと、入所

しせつたいけんだん とうほくだいしんさい  
施設体験談や東北大震災から3

ねんご げんじょう ふくしまけんみなみそうま  
年後の現状を福島県南相馬

し じりつけんしゅうしょ きちょう はなし おきなわけん  
市にある自立研修所ビーンズから貴重なお話をさせていただきました。そして沖縄県

きょうせいしゃかいじょうれい はなし しょう ひと ひと かがや  
からは共生社会条例のお話を「障がいのある人もない人もいのち輝く

じょうれい かい こもんべんごし じょうれい せいてい くわ  
条例づくりの会」の顧問弁護士から、条例が制定されるまでをわかりやすく詳しい

はなし はなし どうじや おも つた  
お話をさせていただきました。それぞれの話からは当事者の思いが伝わり、とてもいい

じかん  
時間となりました。

たいかい にちめ ぶんかかい かくへや わ はなあ きらら  
大会2日目は分科会といって、各部屋に分かれてテーマごとに話し合いをし、希輝々



おきなわ きち まな べいぐんきち こんげんざいもんだいし  
は“沖縄と基地”について学びました。ここでは米軍基地のことや、今現在問題視

へのこ いせつけいかく げんじょう き へいかいしき こんたいかい  
されている辺野古への移設計画の現状などを聴きました。閉会式では、今大会

さんかしゃ せんげん たいかい まく お  
の参加者みんなでピープルファースト宣言をし、大会は幕を下ろしました。